

自分で決めた目標に挑む日本全国のチャレンジャーを応援するニューズペーパー



Challenge Cup Express

Vol.3★2012.3.5
一般社団法人日本チャレンジ教育協会

仲間と取り組む チームチャレンジ特集!!

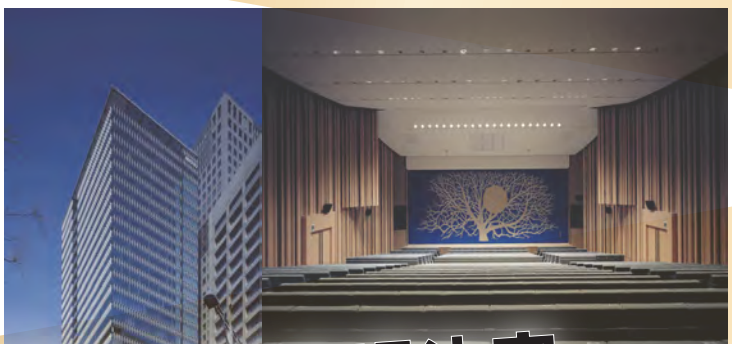


Page 2 特別企画
審査員発表特集!

Page 7 S Sクラブ
高松中央高等学校

Page 8 N 2 M
ITTO 個別指導学院ちはら台校

Page 9 Blue☆Ribbon's
岡山学芸館清秀中学校



グランプリ決定戦、著名人の来場決定 特別審査員発表!!

詳しくは
次の
ページ!!

今年も熱いあの日がやってくる

チャレンジカップ2012 グランプリ決定戦

APRIL 12/2012 @ 日経ホール



有限会社セブン
代表取締役

大嶋 啓介 さん



元バドミントン日本代表

小椋 久美子 さん



セコム株式会社
取締役会長

木村 昌平 さん

スポーツ界・芸能界
教育界・経営界から
審査員として著名人
多数の来場が決定!!



一般社団法人日本家庭教育協会
理事長

田口 佳史 さん



歌手

はいだしょうこ さん



株式会社原田教育研究所
代表取締役社長

原田 隆史 さん



©OSAKA F.C.

元サッカー日本代表
ゼレン大阪アンバサダー

森島 寛晃 さん

2012 特別企画〈1〉 チャレンジャーの大先輩

審査員のみなさんを知ろう!!

審査員の皆さんも社会の中でとても大きな挑戦を日々なされています。
そんな先輩チャレンジャーの皆さんを、メッセージと合わせてご紹介!!



チャレンジャー大先輩の審査員を徹底紹介!

セコム株式会社 取締役会長
木村 昌平 さん

「セコム、してますか？」でおなじみのセコム株式会社で活躍中。子どもの安全と日本の安心を守る会社で企業経営者として、常に可能性に挑戦し続ける先輩チャレンジャーです。



↑2012年1月のNIKKEI安全づくりプロジェクトに出席したときの写真。木村さんは社会の安全といったとても大きな目的を持つ仕事にチャレンジしています。

木村さんからの **自己紹介メッセージ**

犯罪・事故・災害・病気・サイバーリスク・・・あらゆる不安のない社会に向けて「困った時はセコム」と世界中の人びとから頼られる会社にするため、日々挑戦しています。

木村さんが考える

チャレンジの大切さ、その理由

挑戦しないことは、生きることをやめることです。生命はとてつもない奇跡。



↑セコム株式会社で、安全を守るための仕事だけではなく、学生のチャレンジを応援する活動もしています。セコムでは数時間 シャドウ(影)のごとくついてまわり、社員が仕事をする姿を通して会議の熱気や緊張感を感じ、一部の仕事も手伝いながら、仕事の厳しさを肌身で体験する「ジョブシャドウ」という活動があるそうです。

グランプリ決定戦にあたって

みなさんへのメッセージ

共に未来(希望)を語りましょう。

←昨年のグランプリ決定戦に引き続き、今年は審査員として3回目の来場となります。経営者として活躍する木村さんのコメントやメッセージは皆さんが大人になって働くことになっても役立つ内容が盛りだくさんです。木村さんの当日の来場をお楽しみに!





チャレンジャー大先輩の審査員を徹底紹介!

株式会社原田教育研究所 代表取締役社長 原田 隆史 さん

奈良教育大学卒、大阪市内の公立中学校に20年間勤務。保健体育、生活指導、陸上競技部指導に注力。問題を抱える教育現場を次々と立て直し、その独自の育成手法「原田メソッド」で勤務3校目の陸上競技部を7年間で13回日本一に導く。現在は人材育成・研修活動等で幅広く活躍中。

原田さんからの 自己紹介メッセージ

チャレンジカップ2012に参加する、全国のチャレンジャーの皆さん、こんにちは。私は、原田隆史といいます。大阪にある株式会社原田教育研究所で代表取締役社長をしています。全国の企業で働く人々、お父さんやお母さん、学校の先生方、学生さんや小中高校生たちに、夢を描き、自分で達成することができる「自立した人」になるための教育をしています。



現在の仕事をする前は、大阪市内の公立中学校で20年間、保健体育・生徒指導の教師をしていました。また、陸上競技部の指導では、最後の勤務校の7年間で13回の日本一の選手を誕生させるとともに、学校や地域を再生し、皆さんから「奇跡だ」などお褒めの言葉をいただきました。しかし、その奇跡も、全ては「チャレンジ」することから生まれました。

原田さんが「チャレンジの大切さ」を感じた経験



「チャレンジしてよかった」と思ったことは何度もあったという原田さん。その中でも、一番印象に残っているのは大阪市の中学校陸上部顧問時代の出来事だそうです。

2000年の砲丸投げにおいて原田さんのいた中学校では「同一種目で男女ダブル日本一」という中学生陸上競技史上初の快挙を成し遂げました。しかし、その女子の決勝戦はそんなに簡単なものではなかったそうです。出場している選手たちの力が差があまりなく、誰が日本一になってもおかしくない状況だったのです。原田さんが指導していたその女子生徒は「わたし、絶対に日本一になります。先生、見ててください。」と言い切り試合に向かいます。

原田さんと仲間が固唾をのみ見守る中、彼女は、ライバルに数センチの距離で迫られるという強いプレッシャーを乗り越え、最後の一投、わずか4センチの差でライバルを振り切り優勝を手にしたのでした。

彼女もちろんのこと、私も、応援している仲間たちも、誰もあきらめていなかったのです。絶対に日本一になる、そう信じていました。日本一がよくて、日本二番がだめ、という話ではありません。自分で決めた目標に向かって、全力で取り組み、チャレンジし続け、「やり遂げる」ことが、重要なのです。チャレンジし続けるプロセス（道のり）で生まれるものが「自信」です。自信とは、自分を信じる、と書きますね。

「チャレンジには、未来志向が大事」とも原田さんは言います。→



砲丸投げで見事優勝した生徒が自信をつけるためにチャレンジし続けたことは、陸上の練習だけではなく「夕食の血洗い」。風邪を引いても、熱があっても、何があっても、彼女は3年間チャレンジし続けました。そして、「あきらめない気持ち」「我慢する気持ち」「一つのことをやり続けた自分に対する自信」を手に入れたそうです。

グランプリ決定戦にあたって みなさんへのメッセージ

奇跡も、大きな成功も、小さな達成も、全ては「やってみよう、チャレンジしてみよう」という思いが、第一歩となっているのです。だから、自分で決めた目標、夢に向かって、勇気を出してあきらめずチャレンジしている皆さんを、心から応援しています。全国4367名のチャレンジャーの皆さん、チャレンジしよう!と思った、最初の気持ちを大切に頑張ってください。そして4月22日のグランプリで、皆さんと皆さんの夢に会えることを楽しみにしています。応援しています。

←原田さんは夢を達成する方法をたくさんの人に教えてきたプロフェッショナル。温かいハートとメッセージで、皆さんのチャレンジを応援してくださっています。原田さんの当日の来場をお楽しみに!



チャレンジャー大先輩の審査員を徹底紹介!

元バドミントン日本代表 小椋 久美子 さん

8歳の時バドミントンを始める。2002年、オールジャパン（全日本総合バドミントン選手権）シングルスで優勝。ダブルスで潮田玲子選手と「オグシオ」コンビを組み北京オリンピック5位入賞、オールジャパン5連覇達成。現在は子ども達へのスポーツ普及活動を展開。



自己紹介メッセージ

元バドミントン日本代表の小椋久美子（おぐらくみこ）です。私自身もオリンピックという大きな夢に向かってたくさんの事にチャレンジしてきました。皆さんと会える日をとても楽しみにしています。よろしくおねがいします。

小椋さんが **チャレンジの大切さを感じたとき**

小椋さんは小学校2年生からバドミントンを始め、オリンピックという大きな目標に向かって、たくさんの方にチャレンジしてきました。一生懸命練習してもなかなか結果が出なかったり、大きなケガをしたりして、あきらめそうになったこともあるそうです。そのとき小椋さんが考えたこと何だったのでしょうか・・・?

たくさんの方に支えられたり、たくさんの方に応援されたりして、自分だけでなくみんなのためにも『あきらめないで頑張ろう!』と強く思いました。



みんなが本気でチャレンジすれば、きっとたくさんの方が応援してくれるはずです。支えてくれるたくさんの方への感謝の気持ちを忘れずに、頑張ってください。



チャレンジへの歩み出すために必要なこと

新しい事にチャレンジするには、とても『勇気』が必要ですね。私自身も一歩踏み出す時は、すごく緊張もするし不安な気持ちになります。そんな気持ちを吹き飛ばすには、自分が納得するまで『練習』や『努力』をするしかありませんでした。これは自分自身への『挑戦』ですね。

強い気持ちで、チャレンジしよう!

人の2倍、3倍の『練習』や『努力』をするぞ! くらいの強い気持ちを持って頑張れば、目の前の新しい事に一歩踏み出す『勇気』が湧いてくると思います。強い自分、強い心を持って頑張ってください。

グランプリ決定戦にあたって **みなさんへのメッセージ**

『目標』を決めてチャレンジしようとしている皆さんに会えるのをとても楽しみにしています。本番はとても緊張すると思いますし、不安な気持ちになっている人もいるかもしれません。そんなときは、大きく深呼吸して思いっきり自分がチャレンジしたいことを叫んでください。目標は誰かが決めたものではなくて、自分自身が決めたものです。自信を持って『僕・私は〇〇にチャレンジしたい!』とみんなに伝えることで、強い気持ちや勇気が湧いてくると思います。チャレンジャーのみなさんの活躍を心より応援しています。



スポーツの世界でトップの実績を出し続けてきた小椋さんの姿から、チャレンジに立ち向かっていく強さを学びとれること間違いなし! 当日の小椋さんの来場をお楽しみに!

2012 特別企画〈2〉

審査員からの応援メッセージ



一般社団法人日本家庭教育協会 理事長
田口 佳史さん

老荘思想研究者。一般社団法人「日本家庭教育協会」理事長。平成17年教育改革の重要性を痛感し、教師養成の為に師範学校設立に参画する。杉並師範館前理事長。平成20年家庭教育の重要性を痛感し親の子育て教本「親子で学ぶ人間の基本」(DVD)を発表。平成21年我国伝統の家庭教育を再興する為の一般社団法人「日本家庭教育協会」を設立理事長に就任。

「いのちが最もイキイキする時」とは「何かに挑戦している時」と言う田口さん。昨年に引き続き審査員としてご来場いただくにあたり、皆さんへのメッセージを頂きました。

昨年はいのちの大切さを改めて実感させられました。そのいのちが最もイキイキする時こそ何かに挑戦している時です。チャレンジ・カップの精神こそ人間の最も大切なものです。私は、25才の時、突然生命の危機に至る事故を体験してから、重度の身体障害者として毎日がチャレンジです。そのお蔭で多くの幸せを頂きました。神様は出来ないことへの挑戦はさせません。挑戦とはできることだからするものです。その時次の言葉を忘れないで下さい。「止めたい時が伸びる時!!」人間が最も美しい時は、何かに向かって挑戦している時です。

家庭教育の大事さを伝えるため日々活動される田口さんが、皆さんのチャレンジ活動に共感し、応援してくださっています。今年の田口さんの来場をお楽しみに!

チャレンジカップ2012 グランプリ決定戦までの道のり

今一度、グランプリ決定戦までのスケジュールをチェックしておこう!

今年のグランプリ決定戦の会場は東京・大手町の日経ホール。コンサートや演劇、講演会で使われる大きくきれいなホールです。今年もグランプリを目指す8組のチャレンジャーが、この舞台上で発表することになります。

2012年4月22日、
このステージに立つのは
キミかもしれない。

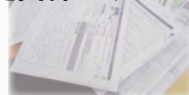
Check 3/15(木)

チャレンジ
期間終了



Check 3/18(日)

活動報告書
提出締め切り



Check 4月上旬

審査
〈優秀賞8組が決定〉



Check 4月中旬

グランプリ決定戦
発表準備



Check 4/22(日)



チャレンジカップ2012グランプリ決定戦

当日の入場は登録制です。
事前にサポーターの先生に申込の連絡をしておこう!

【日時】2012年4月22日(日) 13:00~18:00 (予定)

【会場】日経ホール
〒100-8066 東京都千代田区大手町 1-3-7 日経ビル 3階
東京メトロ / 都営地下鉄「大手町駅」下車 C2b 出口直結

チャレンジ紹介

N2M(エヌエジヨウエム)

ITTO 個別指導学院ちはら台校 (千葉県)

「やるべきこと」と自分で決めた
「やりたいこと」両方にチャレンジ!

最初は勉強のチャレンジを勧められていたのですが、チャレンジカップについて知っていくうちに、「なりたい自分になる」ということにも関心を持つようになりました。勉強で「成績目標達成をする」というやるべきことだけでなく、自分たちの可能性を広げたいと思い、「自分達のコンプレックスを克服して、なりたい自分になる」ということに挑戦することにしました。



それぞれのコンプレックスを克服し、チームで刺激しながら、みんながなりたい自分に近づくことにチャレンジ!

自分たちの可能性を広げたい、具体的な行動を積み重ねる日々

Before



どうしても文章題ができない。(Nさん)

週2回の通塾日、先生達に文章問題のポイントを聞いています。少しずつですが、わかるようになってきました。

人見知りで自分から話しかけられない。特に男子と。(Mさん)

男子に話しかけるきっかけを作るため、山縣教室長に相談し、教室のお手伝いをしています。最近は男子と話すのに抵抗がなくなってきました。

勇気が出なくて何か周りに気配りしたくてもできない。(Nさん)

塾での授業後、消しゴムのカスを掃除します。最近はホワイトボードの掃除や、自習室の机の整頓などにも取り組んでいます。

嬉しかったことアピール!

from
話しかけるチャレンジをしているMさん

今まで男子と雑談する機会はほとんど無かったのですが、体育祭で同じチームになった団長の先輩から「同じ色だったよね?」と話しかけられ驚きました。私の学校では、体育祭のあと同じ組の応援団の先輩達にお礼の手紙を書き、その手紙は壁に貼り出されるのですが、それについても、先輩から「お礼の手紙見ておくれ。」と言ってもらいました。少しずつ会話に対する壁が低くなってきているように感じます。

「なりたい自分になる」ためにコツコツ行動していきます!



「文章題のコツをつかめなかったけど、質問をしながら自分にあった勉強法でスラスラ解けるようがんばります!」

「まだ自分から声をかけることができないこともありますが、相手に興味を持って声をかけるタイミングを見つけようと思います。」

「行動にしたほうがいいなと思ったときに行動に移せないときがありますが、次回の行動につながるよう意識して行動していきます。」

“Comment”

サポーターの
先生から一言

なりたい自分になる!ということで目標を作り、個々にチャレンジしていますが、互いのチャレンジを協力、サポートしあう姿があったりと、3人が協力し合ってがんばっています。なりたい自分になることも大事ですが、勉強もがんばらなきゃということで、メンバー3人のうち2人が今年1月に行われた英検4級にもチャレンジしました。只今結果待ちです!

チャレンジ紹介

SSクラブ

高校1年生
高松中央高等学校（香川県）



地域の奉仕活動と地域の人たちとの交流活動にチャレンジしています！

なんとなく始めたチャレンジ、活動するうちに気持ちが変わってきました

いんや!

最初はなんとなく掃除をしよう！みたいな感じだったけれど、何日か経つにつれて、達成感を強く感じはじめています。

チーム5人で週3日（月・水・金）登校前の7:50~8:20の30分間、学校近くの公園の清掃と地域の人たちへのあいさつ活動をしています。活動ノートを作成し、メンバーの参加状況の記録・活動の所感等を記入しながら進めています。奉仕活動を通じ学校周辺の近所の方々とのコミュニケーションをはかりたいと思ったことがきっかけで、この活動を始めました。

みんなで活動をやりきりたい！

活動は続いているのですが、実は全員そろって活動できていません。チームで決めたチャレンジなので全員でやりとげたいと思っています。参加できていないメンバーには積極的に呼びかけていきます。また、他のクラスメートに呼びかけて人数を増やすなど、より活動の輪を広げていくことで、全員参加の意識を高めていきたいと思っています。

こんな抱負も・・・！

チャレンジカップの期間が終わっても、続けたいと思います。チーム全員の参加はもちろん、クラスや近所の人、小学生・中学生まで清掃の輪を広げたいです。朝早くからみんなで清掃をしていますので、早起きするのは大変だけれど、いつもお世話になっている地域の清掃を心を込めてがんばります！

嬉しかったことアピール!

▼清掃中をしている時に、クラスの友人が「僕も掃除する」と言ってくれたこと。
▼地域の人々と除々にコミュニケーションが取れるようになり、あいさつを返してくれたり、活動を褒めてくれたりするようになったこと。



“Comment”

サポーターの先生から一言

彼らのチャレンジは、クラスメイトや担任の先生をも巻き込んで大きな輪となっていていきます。メンバーたちの自信貯金はもちろん信頼貯金も高まっています。けれども、すべてが順調なわけではない彼らの今後のサポートに注目です。



チャレンジ紹介

Bule☆Ribbon's

中学校 1 年生

岡山学芸館清秀中学校（岡山県）

東日本大震災の被災者に、金銭、物資の援助や手紙を書いて送るなど、できることを探して支援することと清掃のチャレンジをしています！

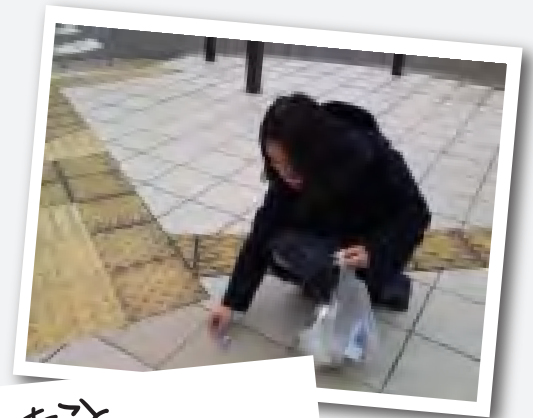


目の前の出来事を、 自分達の事としてとらえる気持ち

チャレンジをしようと思ったきっかけは、東日本大震災が起こり、人事ではないと思ったからです。また、自分の通学路に、ゴミがたくさん落ちていて気分が悪かった、新幹線の席にゴミが置きっぱなしで、迷惑だったという経験から清掃活動をすることにしました。

こんな活動をしています

被災地支援のために、学校で支援物資を持ってきてもらえるよう声をかけて、物資を集めています。呼びかけのためにポスターを作り、みんなに配っています。清掃活動は、週1回、メンバーで集まって、学校から駅までの道で行っています。



あとは、最後までやりきるのみ！

活動は順調だと思います！！清掃活動をやるようになってみんなの予定が合わず、なかなか集まらないこともあります。みんなの予定をメモして予定が合う日に実行するよう工夫しています。もう残りは数えるほどしかありませんが、みんなで力を合わせて3月15日まで、チャレンジを頑張ります！！

嬉しかったこと 自慢したいこと

▼嬉しかったことは、新幹線の中でゴミを拾って捨てるのを見学した学校先生が見て下さっていて、後から褒められたことです。
▼自慢したいことは、ポスターを作ってみんなに配った後日、多くの方が協力してくれたことです。





レッツ・チャレンジ 熱い気持ちを詠みあげろ!

第2回

チャレンジ川柳



応募期間 2012年2月15日(水) ~ 2012年3月11日(日)

日本チャレンジ教育協会では、皆さんの「チャレンジ」をテーマにした川柳を募集中です!

『これから挑戦する意気込み』や『自分が得た教訓』『若かりし頃の思い出』など、どんな場面でも結構です。

皆さんの「チャレンジ」にまつわるエピソードを川柳にして応募してみませんか?

作品例

芯折れた
俺の心は
まだ折れず

といった意気込み、

孫のため
ピアノに挑戦
赤とんぼ

真剣に
努力した日々
宝物

といった自分の気づき、

火をつけた
キミの辛口
今感謝

挑戦を
挑む相手を
間違えて

といったクスツと笑える川柳まで

母ついに
韓流ドラマ
字幕無し

大、大、大募集します!

賞品

入賞

VISA 商品券5000円分

ノミネート賞

応募者全員の中から抽選でチャレンジハンカチを差し上げます!

応募方法

3種類の応募方法があります

応募フォーム
から応募する

URL <http://www.challenge-cup.net/special/senryu/>

▶▶ チャレンジカップ
ホームページから応募

応募用紙を
ダウンロードして
FAXで応募する

URL <http://www.challenge-cup.net/special/senryu/>

▶▶ FAX 送付先
03-5827-7394

携帯電話用
応募フォームから
応募する



URL http://www.challenge-cup.net/special/senryu/m/m_form.html